

# 尾北民商の自治体懇談の報告です！

## 江南市

11月21日(木)の午後に尾北民商は江南市と懇談を行いました。

尾北民商からは役員事務局合わせて9人が参加し、当局からは10人が対応しました。また日本共産党の掛布市議、三輪市議が同席しました。

民商からは懇談にあたって経済センサスに基づく小規模業者数推移、近隣市町の優れた制度、県単位化に伴う国保の税負担率などの資料を配布しました。

減免相談について、最近の申請事例などを挙げながら納税者に有利な方向で寄り添った対応を行うこと。また現在窓口が別になっている住民税、国保税、介護保険料、後期高齢保険料などの減免を、一か所でまとめて相談・申請できる体制を求めました。



江南市との懇談

今年に行われた定額減税については、白色専従者なども新たに調整給付の対象となったことから、この人たち全員が給付を受けられるよう漏れなく申請書の送付を行うようお願いしました。

来年1月以降は税務署が押なつを廃止すると発表しており、補助金の申請などでこれまで收受印のある申告書控えや開業届が使われてきた運用がどうなるかが注目されています。これについて民商からは收受印のない申告書写しなども公式書類として扱い、事業者には所得証明書の取得などの新たな負担を押し付けることの無いように求めました。

尾北民商の宇佐見副会長からは「今年のエネルギー価格高騰対策支援金はとてもありがたかった」との言葉が、前田副会長からは国保税の値上げについて「103万の壁について地方税収の減少に多くの声が上がっているように、国保税値上げで暮らしていけない人が出ることを切迫感をもって国・県に訴えて欲しい」との呼びかけがされました。

## 扶桑町

11月25日(月)の午後に尾北民商は扶桑町と懇談を行いました。

尾北民商からは役員事務局合わせて8人が参加し、当局からは副町長はじめ14人が対応しました。また日本共産党の荒木町議が同席しました。

民商からは事業者の怪我や病気からの事業再開のための休業時補助金制度の要望が行われました。また住宅改善促進事業補助金についても、要綱に基づく見直しを後ろ向きなものにならないよう継続・拡充の検討をしてほしいと求めました。

ゼロゼロ融資の返済が本格化する状況を踏まえ、条件変更や借換のための保証料補助・利子補給の実施を求めました。

渡した資料で、税を納付すると可処分所得が生活保護世帯を下回ってしまう人がいることを示し、低所得者への減免についても納付相談で対応するまえに、より使いやすい減免制度や直接支援の制度を求めました。

マイナンバー保険証については、実質的な取得強要にならないように要請し、一度マイナ保険証の登録を行なったが今は解除したいという人への手続き案内についても質問しました。

国保税の滞納問題については、尾北民商から「国保の滞納者が加入者の1割を超えていて多すぎる。制度設計がおかしく国保税が高すぎるからこうなっている。町からも何かできることはないかの視点から考えて欲しい」と訴えがされました。



扶桑町との懇談

**尾北民商**  
ニュース

2024年  
12月2日号  
TEL 0587-54-0524  
FAX 0587-54-1390